学校番号	1007

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　新化学基礎」　（第一学習社出版）						
副教材等	新課程版　標準セミナー　化学基礎　（第一学習社出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．授業では、課題に対して自ら考え理解するようにしましょう。
２．実験では、技能を身につけるとともになぜそうなるのかを考えましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学的な現象について、基本的な原理･法則を理解し、知識を身につけている。観察・実験を行い、実験操作を習得すると同時にそれらの過程や結果を記録・整理し、現象を科学的に探究する技能を身につけている。	化学的な現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを表現している。	化学的な現象に関心や探究心をもち、それらを理解しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の構成	物質とその構成要素	a:物質の構成について、正しく理解し、物質の分類や分離・精製法、物質の状態変化についてわかる。物質を構成する元素を観察、実験によって調べ、表すことができる。 b:物質を構成する元素を観察、実験によって調べ、表すことができる。 c:物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精製法、物質の状態変化について調べようとする。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート	・学習活動の取り組み ・課題(ノート、プリント類)の提出状況
		化学結合	a:価電子と化学結合の関係について理解している。 b:化学結合を論理的に考察することができる。 c:物質の構成粒子とその結合の仕方に関心を持っている。さまざまな物質の利用について興味を持っている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート	・学習活動の取り組み ・課題(ノート、プリント類)の提出状況
2学期	物質量と化学反応式	物質量	a:物質の量と体積、質量の関係をアボガドロ定数と関連付けて考え、単位モルによって表せることが出来る。 b:原子・分子・イオンの粒子とそれらをあらわす物質量との関係を理解している。 c:すべての物質が粒子によって構成され、その粒子を考えるために物質量という考え方があることについて興味関心を持っている。	・定期考査 ・小テスト	・レポート	・学習活動の取り組み ・課題(ノート、プリント類)の提出状況
	物質量と化学反応式	物質量と化学反応式	a:化学変化の量的な関係について観察と実験を行い、そこから得られた結果を調べることが出来る。 b:化学反応の量的関係について物質量を用いて考察することができる。 c:物質量及び化学反応の量的関係に興味を示し、数学的な計算に積極的に取り組んでいる。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート	・学習活動の取り組み ・課題(ノート、プリント類)の提出状況

3学期	酸と塩基	酸塩基	a:化学反応式のあらわす意味や化学反応の量的関係を理解し、酸・塩基の定義、中和量的関係を理解している。 b:酸性・中性・塩基性に関し、水素イオン濃度及び pH を用いて表すことができる。中和の量的関係を他の化学反応と同様に考察することができる。 c:酸・塩基及び中和に関し、科学的思考から表現しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・レポート	・学習活動の取り組み ・課題 (ノート、プリント類)の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度